

令和6年度 第1回

日南市教育委員会

会議録

令和6年4月23日(火) 午後3時から
日南市役所・別館2階会議室（会議室5）

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第1回会議（定例）
- 2 会議日時 令和6年4月23日(火)
午後3時から午後4時20分まで
- 3 出欠確認
 - (1) 出席委員 都甲政文 黒木由香 別府信一 八木真紀子 佐藤泰信
 - (2) 事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課長
学校教育課課長補佐兼管理係長
生涯学習課課長補佐
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所・別館2階会議室（会議室5）
- 5 傍聴者 4名
- 6 開会
【都甲教育長】
「定刻となりましたので、令和6年度第1回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼束部長】
「事務局につきましては担当職員5名に加えまして、本日は生涯学習課の河野補佐の方が出席をしております。」

【都甲教育長】
「傍聴者は本日4名見えております。よろしくお願いします。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

・ 3月22日、図書館協議会。これ挨拶だけなんですけども、この図書館協議会というのは年2回やっておりまして、関係の皆さん集まっていたいてですね、今年度の実績とか、6年度の事業計画等を審議していただきました。

・ 3月23日土曜日、令和5年度の小学校の卒業式。私は細田小学校に行かせていただきました。10名だったんですけども、皆さんですね、卒業生を祝う温かな雰囲気でした。また、皆さんからも、後で感想をいただけるとありがたいです。

・ 3月25日、これ県の小学会の理事会ですね。令和6年度の予算及び審議、事業計画等が審議されました。

・ 3月26日、この日は5年度の修了式だったんですけども、南郷中と大窪小に行かせていただきました。特に大窪小はですね、椿本校長先生が最後ということで、修了式を見に行かせていただきました。年度を締めくくるですね、厳粛な式でありました。

・ 続きまして3月28日、この日は辞令交付式ですね。出られる方々の辞令交付で、校長先生に対してですね、辞令を交付させてもらいました。退職される校長、それから市外へ転出される校長先生方にですね、感謝の思いを伝えたところです。

・ 3月30日土曜日、この日はシャンシャン馬道中唄全国大会の開会式に参加させてもらいました。去年から元の規模に戻ってきたんですけども、今年もですね、県内外からですね、180名に迫るですね、多くの参加がありました。非常に盛況でありました。

・ 続きまして4月1日です。この日は新しい年度になりまして、教育委員会職員への辞令交付、そして新規採用教職員への辞令交付を行いました。そしてそのあとにですね、第1回の初期研修としまして、新しく先生になられた先生に少しお話をさせてもらいました。私の経験を元にですね、私の思いを伝えさせてもらいました。

・ 続いて4月2日、第1回の校長会、そして転入職員新任式でした。校長会ではですね、新採等ですね、初めての職員への気配りや目配りを配慮するように伝えまして、また新任式ではぜひ日南を好きになって欲しい、そして子供たちのために尽力して欲しいということをお話しました。

・ 4月の4日と5日、この2日間ですね、春の地域安全運動街頭キャンペーンということでですね、北郷のスーパー黒木とそれから油津のサピアですね、あそこで警察とか、関係の方々と一緒に立ってですね、交通安全と防犯のいろんなものを配らせていただきました。

・ 続きまして4月5日、この日は6年度の始業式です。学校始まりました。私は、油津小と飢肥小を訪問したんですけども、新年度を迎えてですね、子供たちの心はずむ、こういう風な姿が見られました。

・そして4月9日、そして12日、小中学校の入学式でした。私は東郷北郷の両小中学校に行かせていただいたんですけども、在校生とか職員がですね、温かく迎えておりました。またこちら、皆さんから感想をお願いします。

・4月10日は日南高校の入学式に行って参りました。今年度はですね、入学生が100名を割ったってことですね、言われたんですけども、少しは寂しい感じもあったんですけども、厳粛な入学式が行われました。

・4月11日、これですね、宮崎県消防職員意見発表会ってのが持ち回りであるんですけども、今回日南が担当で、私に審査員長やれってことですね、11名の若き消防士がですね、意見発表しました。非常にですね、なんかこう、仕事に対する気持ちとかですね、そういうのがあって、厚く感動を受けました。もっと良いことに日南市の代表の人がですね、最優秀をとりまして、この人元学校の先生を臨時でやって、消防士になられたんですけども、だからこそやりたいっていうので、学校の中で心肺蘇生のことをやればなんていうことを言われて、そういうのも高得点に繋がったのかなと。今週26日に別府であります九州大会に出場するということです。

・それから16日日曜日は、地域婦人連絡協議会総会に参加させていただきました。残念ながら今年度ですね、解散するということをお聞きしまして、その総会でした。今までほんと宮浦会長はじめですね、会員の皆様にですね、特に北郷小中学校に対する様々な支援をしてもらっておりまして、その感謝の気持ちを伝えたところです。

・4月17日、これ市町村教育長連絡協議会っていうのがありまして、県内の26市町村の教育長が一堂に集まってですね、役員を決めたり、予算とか、事業計画等を審議決定いたしました。

・4月19日金曜日です。これ初めてなんですけども、市のPTAの役員さんとのですね、意見交換会をしました。これ初めてなんですけども、私と生涯学習課の課長と課長補佐で、中身としてですね、この市Pの研究大会とか、そういうのを今後どうしていこうかっていうことで、教育委員会となんかね、協力してできないかってことですね。すぐすぐにその回答はないんですけども、今後いろいろな意見を交換していきながらやっていったらどうかなって話になりました。非常に楽しい会でした。

・それから20日土曜日ですけども、市のスポーツ少年団結団式に参加したんですけども、子供が非常に元気よくですね、臨んでいました。印象に残ったのはですね、開会式で、国歌と市歌と少年団の歌を歌ったんですよ。3つも。子供たちは今日南市歌を学校でとっても練習してるので、日南市歌を大きい声で歌ってくれました。感動しました。少年団の歌はちょっと歌えなかったんですけどね。はい。本当によかったなと思いました。

・そして4月22日ですね。昨日ですけども、今回初めてですね、日南市にこういった校長先生が8名いらっしゃいますけども、その先生方をちょっと訪問しようとい

うことで、昨日は、3校行ってきました。榎原小、大窪小、鵜戸小中学校ですね、いろいろお願いしてきたところです。

・そして今日ですけども午前中、南那珂地区の教育長会、串間の教育長もこられてですね、教育事務所の今年度の方針や事業、そして研修計画等ですね、説明を受けたところです。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

3月21日、社会福祉協議会の実績報告会。そして校長会の送別会に参加させていただきました。

あと、4月12日にですね私の方、酒谷小学校の入学式に参加してきました。今年ですね、3名の児童が入学されて NHK と日南テレビの取材の方も入っていました。在校生全員が参加型という形で、今回の新入生3名とも校区外からの通学の児童ということで、小規模特認校制度、こちらの方の効果っていうのも出ているんだなと感じたところです。また参加された来賓の数なんですけれども、私を含め26名いらっしゃいまして、いや、すごい多い参加人数だったんですけども、控え室等の会話を聞いていると、やっぱり地域とともに、学校運営で学校が大切にされているんだ、来賓の方も本当に大切にされているんだなとうれしく感じた入学式でした。

【八木委員】

私の方は3月23日で飫肥小学校の卒業式に行きました。待ち時間に宮崎先生から創立150周年のドローン撮影記念のビデオを見せていただいて、とても感激しました。もう卒業式は何ていうかな。今、涙というよりももうとても明るくて、男の子が2人ぐらい泣いてたかと思う。明るい感じの卒業式でした。

3月21日に校長先生の送別会、4月2日に新任式に行きました。あと4月の12日が大堂津小でしたっけ、中学校が9日でしたかね。榎原中学校の小規模校に参加させていただきました。大堂津間違えたらすいません8名。そして榎原は5名。これ地域の方がたくさんみえて郵便局の方とか、警察官とかね。とてもアットホームでよかったと思います。本当に在校生が少ない学校なので、新入生を心待ちにしている様子がとても温かな気持ちが伝わってきました。

【佐藤委員】

私の方も新任式とか、送別会とか行って、もう言われた通りなんすけど、入学式がですね、小学校中学校高校、3つ受けまして、それぞれにやっぱり子供たちがそこにいてみんなでお祝いをするで、来賓の方もコロナが落ち着いてきて結構戻ってきていらっしゃるって、そういう何か子供がいる社会の喜びというか豊かさというか、そういうのが濃縮されてるようですね、非常にやっぱりいいなと。

で、あの教育長が言われた日南高校の新入生なんですけど、そのあとですね、1週間後ぐらいですよ。SDGsの授業があるということで、私子供食堂もやってるから、その貧困の方で、ちょっとっていうことで行ったんですよ。熱心にですね、入学して間もないという緊張感もあるかと思うんですけど、すごく熱心に聞いて、やっぱり特に貧困ってわからないじゃないですか、そんな。絶対的貧困の子たちはないので、相対的貧困で、やっぱりうちだけ塾に行けないとかうちだけ習い事ができないとかそういう苦しさがあるんだよというのをすごく熱心に聞いてくれてですね。社協が、ちょっと主に請負ってやってらっしゃるみたいなんですけど、なんか心強いなっていうか。はい。このまま頑張っって欲しいなと。

あとはですね『こども大綱』のことをちょっと。また研修する機会がありました。幼稚園の方もですね、非常に節目を迎えてるんだなと思って、去年の12月に決まった『こども未来戦略』っていうのも出てるんですけど、結局『こども大綱』って別に幼稚園生小学生だけが対象じゃなくて、もうお腹にいるときから大学まで、もう切れ目なくやっぱりサポートしましょうという大きな事業で、これをやり遂げるっていうのはですね、相当な準備とエネルギーが。幼稚園関係でいうと『こども誰でも通園制度』というのが2年後に始まるんですけども、これも全くまだどうしたらいいかわからない。果たしてこれが本当に子供たちのためになるのかというあたりもですね、よく共通理解できてなくて、だからこれ日南市としてどのように取り組むかっていうところを、なんか未来日南市子供計画とかいうのも今度作られるというふうにお聞きしたんですけど、これをどこが進めるのか、こども課っていうのもちょっとお聞きしたんですが、個人的なお願い等をさせていただくならばさっきみたいな国スポですよ、準備室とか何か頼もしい方たちで構成されてるじゃないですか。そういう何か特別な組織で、幼稚園、小学校中学校高校とかいろんな関係者の方が、福祉も含めてですよ。関わっていかないと、簡単にはいかないんじゃないかなというのをまた説明聞きながら思いました。また少子化対策とか貧困対策とかも、ねらってるわけなので、簡単にはいかないけど、もうしっかり取り組まないといけないなと思いました。

【黒木委員】

私の方も卒業式入学式、それぞれ出席させていただきました。卒業式が南郷小学校の卒業式で、ここは地域の方が涙をする卒業式で、子供たちはまた中学校でも一緒っていうのもあって、中学生に向けてっていう表情が見られたんですけど、やっぱり地域の方が小学校のお昼休み遊んだり放課後遊んだりっていうこともあって、涙を流しながらお祝いをおめでとうって言われてた姿がとても印象的でした。

そして飢肥中学校の入学式に出席した時が、前日に大きなちよつと揺れのある地震が発生した翌日でもあって、地震のときはちょうど休み時間だったそうで、生徒たちはそれぞれ教室にみんながいるわけじゃなくて、休み時間でそれぞれ出てたけ

ど、きちんとこう対応できたということで、やっぱり日頃の、そういったどこで何があるかわからないけど、起きたときにはこうしようっていうのがちゃんとできてるんだなっていう話を聞いたのと、あとまた式中にそういう地震が起きたときのことも先生たち考えてくださっていて、窓も開けてっていうようなきちんと対応された入学式に参加することができました。

あと吾田小学校の入学式が、合唱が素晴らしくて。私最初の国歌の 때가、何か CD がかかっているのかなって思うぐらい綺麗な歌声で、そしたら 6 年生がお祝いの言葉って言って出てきて、1 年生の前でこうパフォーマンスをして歌った時にこれかと思って、校歌もものすごく立派なんで、後で聞いたら合唱部の子は数名しかいないって。そんな中で 6 年生のあんな歌声が出るのかと本当感動で、ちょっと入学式で涙が出るぐらい生歌、感動しました。

あと思ったのが、やっぱり小学校 1 年生の入学式でお祝いの言葉を言うときに、やっぱり校長先生とか私とかの言葉ってこう、1 年生ってどんどん飽きてくるじゃないですか。だけど 6 年生の挨拶ってなると 1 年生ぴしっと聞くから、やっぱりその 1 年生に聞いてもらえるような挨拶の仕方をしないといけないなと、6 年生に教えられた入学式でした。

9 前回の議事録承認

令和 5 年度第 15 回の議事録について了承

10 議題について

協議 1 令和 6 年度の教育委員会施策について

(鬼東部長)	令和 6 年度教育委員会施策 学校教育課分について説明。
(重永課長)	令和 6 年度教育委員会施策 生涯学習課分について説明。
(別府委員)	今回の生涯学習課の方にスポーツ係の方が新たに導入されたんですけどこれ、2027 年、令和 9 年度の国民スポーツ大会があって 10 年以降というのはまた元に戻るような形なんですか。それともスポーツ係とか何らかの形でまた生涯学習の方に残る感じでしょうか。
(重永課長)	現在のところは準備室を設けておりますが、今度はこれが準備室から実行委員会に移行します。当然、ある一定の役目を終えますので、また組織機構の改革はあるものかと思っております。それがスポーツ単体での課になるのかとかそういったことも、まだ現在のと

	ころ決まっております。
(八木委員)	学校図書司書さんたちの事業はここには入っていないんですか。
(河野補佐)	図書館費あたりに図書館運営に関する人件費も含めた予算が含まれているんですけども、学校図書司書はなかったんじゃないかと思います。
(都甲教育長)	司書の方は共立ですね。
(八木委員)	図書館からの派遣ということですか。
(河野補佐)	委託ですね。民間に委託をして、そこから出してもらっているわけです。
(上村補佐)	学校司書は学校教育課のほうでお願いをしているところでございます。
(佐藤委員)	GIGA スクール推進事業なんですけど、質問というよりもお願いなんですけど。もうこれを推進しなくてはいけないっていうのはもう重々わかるんですが、やっぱメリハリのある使い方をですね、できるような教育も必要かと思うんですよ。かなりハードルが下がってるタブレット。スマホの子供たちの取り扱いというのがですね、もう本当幼児期からもうどんどん触ってて、もう学校でも使うんだから早く始めようっていうような風潮とかもすごい強いですよ。だけど、健康面とか考えると、運動もしなくなるし、ブルーライトをいっぱい浴びて睡眠も削られるし、やっぱそこら辺のメリハリのある使い方というのをきちんと教えていかないと、保護者の方にもですね。割ともうずっと1日中端末を見て過ごすということになりかねないなというちょっと心配があるので、そこも合わせて力を入れていただけるとありがたいです。
(都甲教育長)	あくまでも教具なんで、これは教えるためにですね。道具なので、それに振り回されちゃいけないってことですよ。そこは学校で注意するようになってことは話はしてますけど。使う時間とかですね、例えば45分授業だったらもうずっとそれじゃやっぱりいかんわけじゃないですか。やっぱ要所所使わないといけないからですね。ありがとうございます。気をつけていかんといかんですね。
(黒木委員)	今の佐藤先生のお話にもちょっと関係するんですけど、これもちよっとこの事業のこととは関係ないんですが、やっぱりこのGIGAスクールを小学校1年生からっていうことになると、その前の幼稚園、幼保小連携のところで、もう少しこういったところを、小学校から始まるので、保護者に向けてとか、幼稚園生、各幼稚園に対しての、こういったことに対する教育だったり、そういうところも今

後視野に入れていった方がいいのかなと。

義務教育は小学校からなんですけど、その小学校の義務教育から始まるこの教育に向けて、幼稚園からのその保護者や幼稚園児に向けての教育っていうのを推進していた方がいいのかなっていうのを最近ちょっとよく感じるので、そういったところも今後見ていただけるとありがたいなと思います。

もう1つ質問が、生涯学習課の方なんですけど、5番の若者活躍応援事業。これは対象者は社会人の若者が対象ということになるんですね。

(河野補佐)

社会人で日南市内にお住まいか、お勤めの概ね40歳までということで募集はするんですけど、実際は40代の方も参加していただいております。で、一応4年間の事業ということで始めておりまして、今年度が最終年度4年度目となっておりますので、今後、継続をするのか改善をするのか、検討する年度になっております。

(黒木委員)

活動があった上でどんなことがあったのかとか、そういったことが聞けるとすごく興味深い内容だなと思ったので、何か教えていただけますか。

(河野補佐)

そもそもですね、人口減少高齢化が市内全域、全国的にもですけども、いろんな分野に影響が出ております。先ほどの地域婦人連絡協議会あたりもですね、次のリーダーがなかなかっていうような課題もあったりしますが、これは特に地域でですね、今リーダーとして頑張ってる方、メンバーとして頑張ってる方が高齢化していて、次の地域を担う若者がなかなかいないということで、若者に地域の課題を見つけて、それを解決していくためにはどう行動できるかっていうのを、学んでいただく人材育成の事業なんですけれども、なかなか目的が大きくてですね、実際にできていることとのギャップがあるなと感じているところです。

具体的には3月の坂元棚田祭りが今道の駅酒谷で開催されていて、坂元地区が高齢化して、棚田では何もできてないという課題がありましたので、この事業に参加してくれた若者ですね、棚田のことを知ってもらおう、PRしようということで、棚田を生かしたイベント、具体的には、棚田などで宝探しをしたり、クイズをしたりという事業を実践してもらいました。まだまだ事務局の方が段取りをしているような状況なので、若者が主体となって、地域の次のリーダーとなるっていうところまでは、ギャップがあるなと感じているところでございます。

(佐藤委員)

生涯学習課の7番の放課後子供教室事業なんですけども、この導者とかはどのように、これは集められるんですか。

(河野補佐)

放課後子供教室におきましてはまず、コーディネーターということで、学校と地域のボランティアをつなぐコーディネート役割の方を1人配置しております。で、その方がですね、地域のボランティアの協力をいただいて、子供教室で子供たちの面倒見たりお世話をしたりするということです。人選につきましては、なかなか難しくてですね。こちらも高齢化してきていて、そろそろ次の世代にと言われるコーディネーターもいらっしゃるんですけども、ここはもう学校の方でふさわしい方をご紹介いただいたり、私ども生涯学習課の方で探したりということで、特に何かの資格を持った方という制度ではございませんので、他も口コミといいますか、知り合いづてでといいますか、探しているような状況です。

今年度の各学校のコーディネーターは皆さん、昨年度からの継続です。令和5年度にですね、北郷小中学校がお1人だけ変わったというような近年の状況でございます。

(佐藤委員)

児童クラブもそうなんですけど、なかなかその人材確保のほうが大変で。やっぱりそのなんですかね。子供をけがなく見てればいいって、それであつたらそれでいいのかもしれないですけど、やっぱりそこで子供たちのいろんな学びがあつたり、喧嘩して、トラブルがあつて、そこで社会性を身につけたりとなると、やっぱりある程度のスキルと、それから知識等がないと、かえって子供たちにとってですよ。本当にありがたい。ボランティアで来ていただくのはありがたいんですけど、マイナス面といいますか、逆に子供たちが、負の影響を受けてしまうということにもなりかねないので、そこが難しいだろうなと。

ですからこうやって受け皿を広げるのはいいんですけど、それをちゃんと支えてくれる人材がいないとですね、かえって子供たちにとって良い居場所にはならなかったりするんじゃないかと。

だからこれと離れますけど、やっぱり保護者の方がちゃんと放課後はもう4時ごろには迎えに来れるような、なんかそういう働き方が進んでですね。こういうあまり放課後子供教室事業がなくても、ちゃんと家庭で過ごせるっていうような方向にいくと良いのではないかと、すみません。理想かもしれないんですけど、それがさっきの子供未来戦略の1つなんじゃないかと思うんですよ。やっぱり横断的に考えていかないと。

(河野補佐)	親御さんというかご両親といいますか、保護者の方ですよ、この放課後子供教室を児童クラブと同じ目線で見てらっしゃる方もいるんじゃないかなあと。そういったところの問題であるとかですね。ちょっとコーディネーターさんといいますか、うちの子供教室の方を受け持っていていただくボランティアの皆さんもやっぱりいろいろなことを感じ取ってらっしゃるようではあります。
(都甲教育長)	そういう意味ですね。年何回か集まってもらって、コーディネーターさんとか支援員さん、やっぱりいろいろな意見を吸い上げて、やっぱりいいようにやっていこうというようなこと。仰るようになるようにですねやっぱり。そこら辺は非常に生涯学習課がですね、リーダーシップをとってやってくれてると思うんですけどね。
(佐藤委員)	保護者の方のニーズをそのまま受け取るとですね、やっぱりいろんな方がいらっちゃって、権利といえば権利なんでしょうけど、なんかちょっと、保護者の方がもう子育てをこう、言葉悪いですけど、放棄してそこに押し付けて、あんたらちゃんと見ないといけないぞみたいな、それはまた違うんじゃないかと思うんですよ。 ですからご苦労されてるのは重々わかるし、子育ても大変ってのはわかるんですけど、やっぱり保護者の方がしっかり子供に向き合うっていうその形をやっぱ忘れないようにしていかないと、なんか対応して、保育の現場でもそれをすごく感じる。もう預けましたからねって、ちゃんと見てねって、いやあなたも頑張ってるって言いたいところが、すみません。
(河野補佐)	子供教室は、ちょうど今日の夜と明日の夜ですね、市内二地区に分けて、保護者説明会と申し込み受付をしますので、保護者からの申し込みがあった児童が参加するということになってまして。当然かもしれないですけど保護者のアンケートなど、声を見てみるとですね、宿題を終えて帰ってくるのでありがたいとかですね。七夕とかクリスマスとか、ドングリで作ったものづくりとか、季節の行事を体験できてうれしいとか、そういう声は多いところです。
(八木委員)	対象になるのは皆ですか？
(河野補佐)	放課後子供教室の方は、すべての児童が対象になっております。
(八木委員)	児童クラブには入れない子供もいるってことですかね。
(河野補佐)	場所によっては入れないところもあります。定員もありますし、保護者がお仕事をしてるなどの条件があったと思います。それをクリアせんと駄目ですね。
(八木委員)	これを聞いたのは児童クラブだと思うんですけど、月に 500 円で

(佐藤委員)	すかね、お金をいただくみたいで、おやつ代。そのおやつが多すぎて夕飯が食べれない。ポテトチップとか、チョコレートとか。そういうところもなんかちょっとすり合わせというか、はい。そういう話聞いたことがね。 場所によっても大分活動内容が違うんだと思うんです。そこもね、特徴という特徴なんでしょうけど。
--------	--

協議 2 文化財審議会委員の委嘱について

(重永課長) (都甲教育長)	文化財審議会委員の委嘱について説明。 これについては、よろしいでしょうか。この方々に今度新しくなっていたくということで、よろしくお願いします。
-------------------	---

1 1 報告について

報告 1 3 月議会報告について

(鬼東部長) (都甲教育長)	3 月議会報告について説明。 これについては、よろしいでしょうか。
-------------------	---

報告 2 令和 6 年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について

(鬼東部長) (都甲教育長)	令和 6 年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について説明。 この載っている先生方にですね、いろいろやりくりしてもらって、4 月は健康診断時期ですので、来ていただいてるってことです。
-------------------	---

1 2 その他

(1) 5 月行事予定について

【都甲教育長】

5月行事でいくと、委員の皆さんには中学校の体育大会がありますね。そして定例教育委員会ということで、また体育大会につきましてはご協力をお願いします。

(2) 第2回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和6年5月22日（水） 午後3時から
- ② 場所 日南市役所・別館2階会議室（会議室5）

(3) その他

【別府委員】

1つだけちょっとその感動した話があって、どうしても言いたくて、この前結構大きい揺れがあった地震があって、その2日後か3日後ぐらいに榎原小学校に行っただんですけど、小学校では2階も学年で分けてるんですけど、しばらく落ち着くまではすぐに逃げられる状態にっていうことで全員クラスを移動して、1階にクラスを作られて授業されてまして。特に今回教科書の変った時期でもあって年度初めで先生も多分忙しいはずなのに、人数が少ないといえ、やっぱそういった環境を変えるのは大変な中、そういった柔軟な対応をやっぱ子供達の命を一番に考えてっていうところで、柔軟に対応されてたんだというのが、すごくちょっと感動したところであつたんで、どうしてもシェアさせていただきました。

13 閉会